

3年国語「春風をたどって」(如月かずさ)授業記録 改訂版

京都の会 3年担任 吉川恵美子

4の場面の解釈および授業の展開案

子どもたちは、この物語を初めて読んだ際、「4の場面で、ルウがしゃしんのけしきに行ってみいたいという気持ちは、森の中のすてきなけしきをさがしたいという気持ちに変わったのだ」というふうを読む子が多かった。しかし、21段落の「花ばたけの空気をむねいっぱいにすいこんで、本物の海もこんなにおいがするのかなと、ルウはそうぞうしました。」という文や、22段落の「その夜、ルウは、すあなでたから物のしゃしんをんをながめていました。きれいだなあ、いつか行ってみたいなあ、とうっとりしながら。」の文からは、ルウがしゃしんのけしきに行ってみいたいという思いがなくなったとは読めない。それどころか、海色の花ばたけを見つけたことにより、より一層、しゃしんのけしきに行ってみいたいというルウの思いは強くなったのだと読める。海色の花ばたけに出会うまでは、写真を見てにおいを想像することなどなかったのに、出会ってからは、においまで想像して楽しむことができるようになったのだから。

初めの子どもたちの解釈を覆すために考えた授業展開は、4段落で「この森のけしきってさ、ぜんぜんわくわくしないよね。」というルウの気持ちが、24段落で「わくわくしながら」に大きく変わっていることに気づかせることから始めるもので、

- ①わくわくの原因は、どこを調べたら、分かるかな？→「そんなふうを考えてわくわくした」んだから、すぐ前のカギかっこ。
- ②カギかっこの中には、4つの文があるけれど、どの文で、わくわくしたんだろう？
→4文目
- ③4文目で、問題を作ってみよう。→1) どうして、ノノンといっしょじゃなかったらダメなの？→どんなにかすかなにおいでも気づくことができるから。
2) 「あの花ばたけみたいないけしき」って、どんなけしき？→海色の花ばたけは、本物のうみのにおいをそうぞうさせてくれた。ほかのしゃしんのけしきのにおいもそうぞうさせてくれるようなすてきなけしき。
- ④わくわくする気持ちと、宝もののしゃしんのけしきとは関係ないのかな？→しゃしんのけしきへのあこがれを、もっともっとふくらませてくれるようなけしきを求めているのだから、大いに関係がある。

というような展開にしたいと思って取り組んだが、なかなか、子どもたちに託しきることはできず、強引に引っ張ってしまったように思う。

授業記録

- T1 今日は、どんな対立からだった？
- C1 この間は、写真の景色を見に行きたいのか、花ばたけみたいな景色を見に行きたいのかで対立を作った。(ひさ)
- T2 それを解決するために……。最後の場面のルウは、1の場面とは変わってると、この間、みんなは言ってたけど、何が変わったの？
- C2 初めは、「旅に出たいなあ。」って、あきらめかけてるわけじゃないけど、旅に行きたいけど行けないと思っていたけど、最後は、ノノンといっしょなら、ぼくの知らないすてきな場所にいけるかもしれないって思った。(なおき)
- T3 そこで、訊きたいことはない？なおきさんの言ったことで、ひっかかった人？
- C3 なおきさんは、旅に出たいけど出られないって言ったけど、僕が思うのは、「旅に出たいなあ。」ってずっと言ってるけど、それがなくなった。(しんぺい)
- C4 「旅に出たいなあ。」という最初の暗い気持ちが、明るくなった。(りくと)
- T4 ああ、「旅に出たいなあ。」という気持ちは、最初は小さかったん？
- C 大きかった！
- T5 なんで、大きいってわかるの？
- C5 ⑥の「それでもぼくは、いつかぜったい、しゃしんのけしきを見に行くんだ。」って、「ぜったい」がついてる。(ひさ)
- T6 ぜったいというのは、言い換えたら？
- C6 かならず(はる)
- T7 あれ？それって、あきらめかけてるのか？
- C いや！
- T8 じゃあ、なんで、絶対に行きたいの？
- C7 森のけしきがつまらなかったから？(かこ)
- T9 それはどこに書いてあるの？
- C8 考え中？(なおき)
- C ④
- T10 それだけ？
- C9 ④の「どれもルウが見たことのない、すばらしいけしきばかりでした」(はると)
- C だから、たから物になった！
- T11 たから物やって。みんな、たから物持ってる？
- C10 1年生の時に、6年生からもらった貝。(ひさ)
- T12 たから物って、日によって変わるの？

- C 変わらへん。ずっと続いでる物。(口々に)
- T13 その人にとって特別の物なんやな。
ここに気づいた人いたよな。この間。
- C あ！「わくわく」か！変わってる！（口々に）
- C11 ④の「この森のけしきってさ、ぜんぜんわくわくしないよね。」から、最後の「わくわくしながら」が変わってる。(なおき)
- C (口々に)
- T14 このわくわくって、一体・・・？
- C 何にわくわくしてるか！
- T15 おお！すごい！
- C12 ノノンといっしょに、知らないすてきなばしょを見つけること (はる)
- C ああ！
- T16 全員、いっしょ？
- C いや。(口々に)
- C13 森の中にある、近くにある花ばたけみたいなけしきをノノンといっしょに見に行く。
(ひさ)
- C14 ノノンといっしょに、近くの、まだ知らないけしきを見に行く。(しんぺい)
- C15 さっきの意見といっしょみたいや。みんな。(そう①)
- T16 山作りたいなあ。対立。
- C 反対の事やんかなあ。(口々に)
- T17 しゃしんのけしきは、もういいのかな？
- C (大きく横に首を振る。)
- T18 じゃあ、2番は、「しゃしんと関係ある。」
1番は、「しゃしんと関係ない。」に変えようか。逆にしなあかんからな。
- 指示調べ わくわくしているのは、
- ① 写真と関係ない。 11人
- ② 写真と関係ある。 16人
- T14 みんなに勉強の仕方を教えてあげるからな。これを解決していく方法やで。
わくわくしている原因は、どこに書いてあると思う？
- C16 「そうだ。ぼくの知らないすてきなばしょが・・・」って書いてある。(しんぺい)
- C 何番？
- C17 24番 (しんぺい)
- T15 なんで、そこやと思うの？
- C18 そんなふうに (りくと)
- T16 おお！じゃあ、そんなふうって、どこに書いてあるの？
- C19 一こ前。(りくと)

T17 そうやな。すぐ前やったな。ここ？このカギかっこでいい？

C うん。

T18 じゃあ、このかぎかっこの中の文って、いくつあるの？

C 4つ。(一つずつ、確認)

T19 この中のどの文で、わくわくしたんやと思う？

指示調べ

1の文	0人
2の文	4人
3の文	0人
4の文	23人

T20 どっちから言った方が、みんなの勉強になるかな？

C ②から

C20 ぼくの「知らない」すてきなばしょが、ほかに、まだ、近くにあるかも「しれない」ということばが、なんだか、わくわくする。(はる)

T21 おお！「かもしれない」か。4の文にも、よく似た言葉があるよ。

C 「見つけられそうな気がする」

T22 うん、「見つけられそう」と「かもしれない」を比べよう。どっちが、可能性が高いの？

C ④や！

T23 ということは、「わくわく」は？

C 見つけられそう！

T24 って考えるんやで。なんとなくではなくて、こんなふうに、ことばを比べたりするんやで。いい？じゃあ、4番の文を考えてみよう。4番で、問題作ってみよう。

C (4の文を、みんなで読む。)

C21 なんで、「ノノンといっしょなら」なの？(しんべい)

C おお！(口々に)

T25 他に？

C22 「また、あの花ばたけみたいなの」って書いてあるけど、どんなけしき？(いずみ)

C (口々に)

T26 どっちから行く？

C なぜ、「ノノンといっしょなら」か？

C23 ノノンの鼻のおかげで、花ばたけを見つけれられたから。(かこ)

C24 ⑯の「ぼく一人だったら、この花ばたけを見つけることはできなかつたろうな」って思ってるから。(なおき)

T27 うん、思ってるなあ。なんで、ノノンといっしょしかあかんの？

C25 自分は、⑪の時に、においがしなかった。それで、ノノンについて行ったら、花ばたけを見つけれられたから。(りくと)

T 28 ああ！何が大事なの？これは。

C かおり。におい。

T 29 ノノンが必要なのは、かこさんが言ってくれたノノンの鼻？鼻でかぐのは？

C におい

T 30 おお！においが大事やと言うことがわかってきたなあ。

じゃあ、こっちの問題行こう！

C 「あの花ばたけみたいなけしき」って、どんなけしき？（みんなで読む。）

C 26 あの花ばたけみたいなけしきって、あの海色の花ばたけみたいなこと、それを例み
たいにして、また、見たいと思った。（そう①）

T 31 海色のけしき。なるほど、他は？

C 27 ⑧の「さいしょに行くのは、やっぱり海がいいな。」って思ってた、3 の場面で、海
と同じ色で美しかったから、花ばたけでもなくてもいいから、たから物のしゃしんみ
たいなけしきをみたいと思ってる。（ひさ）

T 32 なんて言わはった？

C たから物のしゃしんのようなけしき

C 28 たから物のしゃしんには、「雪をかぶった白一色の山々」「黄金にかがやくさばく」と
かいろいろあるから、海だけじゃない。行きたいのは。できたら、全部行きたいけど、
その中でさいしょに行きたいのが海やというだけ。

T 33 ということは、たから物のしゃしんにうつっているいろいろなけしきになにたけしき
ってこと？なんで、にてなあかんの？

C 27 きれいな景色を越した景色。自分の中のきれいな景色と、たから物のしゃしんのけし
きとは、また、別なんじゃないの？（なおき）

T 34 ああ！しゃしんのけしきとは関係なく、きれいなうっとりするけしきをさがしに行
ってるの？

C 28 ⑩の「ルウが行きたいとねがっていた、しゃしんの海にそっくり」やったから・・・
（はると）

T 35 そっくりやったから、もう、海にはいなくていいのか。

C 29 そっくりやったから、また、そんなけしきのところに行きたい。（しんぺい）

T 36 じゃあ、「あの花ばたけみたいなけしき」って、「海色のけしき」なのか、「たから物
のしゃしんにたけしき」なのか、どっちなの？

指示調べ ①海色の景色 1人 ②たから物のしゃしんのけしきになにたけしき 26人

T 37 これは、また、置いておこう。最後の謎が解けたら、置いておいた謎が全部解けるか
ら。じゃあ、「たから物のしゃしんにたけしきを見に行くのは、なんのため？」に
ついて、次の時間に考えよう！

